

Fusyo Collaboration letter

4月9日

No. 1

文責 廣田 秀俊

新年度がスタートしました

新しい年度がスタートしました。本年度、大分大学教育学部附属小学校へ赴任いたしました、校長 廣田秀俊と申します。新たに赴任した教員も加わり、新しい体制での子どもたちとの出会いがあり、学校生活を新鮮な思いでスタートしています。すべての人が笑顔でこれからの日を進めていけるよう、教職員一同チームになって力を合わせ、心をつなげて、精一杯努力してまいります。どうぞ安心してお子様を学校へ送り出してください。

本年度の学校教育目標は“グローバルリーダー(Think globally, act locally)の育成です。そのサブタイトルには、「未来に向かって高い志を持ち、人や社会と豊かに関わり、自己を磨き高め合う子どもの育成」を掲げています。

子どもたちは「何のために学校に行くのでしょうか？」いろいろな考えがあると思いますが、私自身は「自分をつくるため」と考えています。子どもたちの「自律」を目指していくため、スタートのこの時期を“CHANGE”する“CHANCE”の時期ととらえ“CHALLENGE”して欲しいと思っています。

道徳の時間に自分を高めたり、特別活動の時間に仲間と語り合ったり、総合的な学習の時間に地域に出かけたり、外国語の学習でコミュニケーション力をアップさせたり、たくさんの活動から、目標を見つけ、自分自身を育て、学びに活かしていける教育活動を進めていきます。

本校では四校園同士で連携を行い、子どもたち自身が世界へ目を向け、ふるさとを知り、夢を描ける、そんな魅力ある居場所づくりを行っていきたくと考えています。

始業式で子どもたちに三つのことを好きになって欲しいと校長より提案しました。

一、「自分 大好き」

自分のことが好きになると、挑戦意欲がわき、気持ちが前向きになる。

二、「友だち 大好き」

お互いがお互いを認め、支えあうことで、一人では難しいことも挑戦できるようになる。

三、「学校 この地域 大好き」

安心して学校に来ることができるよう、先生・地域の方々が見守っている。

子どもたちが、この三つを大好きになって、一人一人が新しい一年を楽しく、元気に過ごし、健やかに成長していただきたいと思います。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

